フランス・カンヌライオンズ研修活動報告

2026 年 6 月 21 日から 28 日にかけて、昨年度の UCOP 電通企画(STEP1)の最終プレゼンテーションで優秀チームとして選出された 5 名の本学学生が、カンヌライオンズ研修に参加しました。
「カンヌライオンズ」とは、世界のクリエイティビティの祭典であり、近年は企業のプロジェクトやビジネスモデルの斬新さが表彰される国際イベントとなりつつあります。そのことから「アイデアの見本市」とも言われており、株式会社電通は毎年参加しています。
今回、学生は世界の先進的なクリエイティブ事例や社会課題解決の取り組みを現地で学び、講演やワークショップへの参加や、イノベーション部門の審査委員長を含む電通メンバーとのディスカッションを通じて、学生自身がアイデアを実装するための手がかりを得る機会となりました。
研修に参加した学生が今年度取り組むことになる UCOP 電通企画(STEP2)の活動では、昨年度 STEP1 で創出したチームのアイデアを、ビジネスとして社会実装することを目指し、電通の社内プロジェクトに加わって、実証実験に取り組んでいく予定です。

※カンヌライオンズ日本公式サイト　https://www.canneslionsjapan.com/



（左：モニュメント前にて参加学生 5 名　右：会場内の様子）



（電通ビーチハウスにて株式会社電通グループ　佐野傑取締役代表執行役社長/グローバルCEO からの紹介のもと、お世話になる社員の方々へ挨拶を行いました）



（プログラム終了後は毎晩、電通社員と学生メンバーで各事例を振り返り、感想を共有しながら議論を交わしました）



（最終日には、イノベーション部門の審査員長を務めた志村和広クリエイティブディレクターとの振り返りワークセッションを実施し、イベントの運営の様子についても知ることができました）

参加学生の声（活動要約）

〇参加を通じて得られた学び

「クリエイティビティとは単に広告を作ることではなく、人々の考え方や行動を変え、よりよい社会や未来をつくる力だということだと強く感じた。
優れたアイデアは、技術の新しさだけで評価されているのではなく、その技術を通じて誰のどのような課題を解決するのか、どのように社会へ広がり、変化を生み出すのかというところまで考え抜かれていた」

「一部の人々が抱える課題から生まれた技術を、結果的に多くの人に役立つ価値へと発展させた事例が特に印象的だった。そうするためには、課題と技術のつながりを分かりやすく示し、人々が自分自身のこととして関われる体験に変えることが重要だと感じた。
また、優れたアイデアほど、短時間でその本質や価値が伝わるということも学んだ」

「アイデアを理解し、その価値を見極める力の重要性を学ぶことができた。多くの作品や議論を通じて、アイデアの本質や社会的価値を見抜く難しさを実感した。
また、好奇心の大切さについても、理解できた。世界最先端のクリエイターや研究者の話を聞き、変化の激しい時代においては専門性だけでなく、幅広い分野への関心を持ち続けることが重要だと学んだ」
「今回の渡航を通して、異なる専門性や背景を持つ人々と交流する中で、多様な視点を取り入れることの重要性を学んだ」

〇大学での学びの相対化、自身のキャリアへの影響
「世界最高峰のクリエイティブに触れ、自分自身もそのような世界のトップを目指したいと思えた」
「私自身、これまで計量分析を通じて物事の因果関係を明らかにする研究に取り組んできた。しかし、世界最高水準のクリエイティブは、分析にとどまらず、その結果を具体的な施策として実装し、社会に届けるところまで担っていた。社会を前進させるためには、課題を分析するだけでなく、自ら解決策を形にし、人々に届けていく視点が必要であることを学んだ」
「現地での学びを通じて、自身の視野を広げるとともに、今後の学びや進路を考える上で大きな転機となった。これまでは研究を通じて社会貢献をしたいと志向していたが、研究成果や技術を社会に実装し、人々へ届けるクリエイティブの役割を担うことにも強く惹かれるようになった」

〇AI 時代におけるアイデアの価値についての気づき
「カンヌライオンズでは、新しいアイデアが実現可能かどうかを確かめる「Proof of Concept（概念の実証）」ではなく、そのアイデアによって社会にどのような変化を生み出したかを示す「Proof of Change（変化の証明）」が重視されていた。評価されるのは斬新な表現そのものではなく、データや事実に基づいて社会課題の解決につながり、実際に社会へ影響を与えたアイデアである。 AI の普及によって誰もが情報を生み出し、検証できる時代だからこそ、本当に価値があるのは社会を動かし変化を生み出す力なのだと感じた」
「AI をはじめとするテクノロジーは大きな可能性を持つ一方で、使い方や社会への影響といった課題も抱えている。今回の研修では、クリエイティブの力によってそうした課題に向き合い、人々の共感を得ながら社会をより良い方向へ動かしていけることを実感した。
この経験は、将来のキャリアを考える上だけでなく、自身の価値観や今後の行動にも影響を与える非常に意義深い学びとなった。」